

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイハツディーゼル姫路試運転工場	階数	地上平屋建て
建設地	兵庫県姫路市広畑区富士町1番13,7	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 0.0	評価の実施日	2024年6月20日
敷地面積	9,234 m <sup>2</sup>	作成者	山中 隆史
建築面積	3,923 m <sup>2</sup>	確認日	2024年6月20日
延床面積	3,925 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	2.8

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	2.7
耐用性	2.8
対応性	4.4

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性	1.1

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	N.A.
効率的	3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	2.5

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.7
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	将来の更新性に配慮したゆとりある計画とした。また、敷地内には緑地を設け、周辺環境に配慮した。
その他	特になし。
Q1 室内環境	特になし。
Q2 サービス性能	低い部分の階高=7.7m、壁長さ比率=0.08とする事で空間のゆとりを確保する共に将来への更新性に配慮した。空調配管や電気・通信配線は露出もしくは配管・ダクト内配線とし、
Q3 室外環境(敷地内)	敷地周囲に緑地を配置した。
LR1 エネルギー	特になし。
LR2 資源・マテリアル	内装の下地にはLGSを採用し、部材の再利用に配慮した。便器には節水便器を採用した。
LR3 敷地外環境	特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される